

感染症情報 2月26日～3月3日

府下小児科198医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,173例	(堺市 106例)
②溶連菌感染症	606例	(堺市 81例)
③RSウイルス感染症	201例	(堺市 26例)
④手足口病	96例	(堺市 4例)
⑤咽頭結膜熱	84例	(堺市 1例)

府下307医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 2,747例(堺市 277例)

報告数による順位である。前週比7.4%増の2,271件の報告であった。感染性胃腸炎が府下で前週比5%増、堺市で前週113例→今回106例であった。溶連菌感染症は府下で2%増、堺市は前週88例→今回81例であった。RSウイルス感染症が府下で53%増、堺市で21例→26例であった。手足口病が府下で14%減、堺市で前週・今回とも4例であった。咽頭結膜熱が府下で18%増、堺市で前週2例→今回1例であった。

インフルエンザが府下で前週4,117例→今回2,747例は前週比33%減であった。堺市で前週460例→今回277例は40%減であった。定点当たり大阪府は13.41→8.95になった。堺市は警報が出ていたが、15.86→9.55で終息基準10を下回った。

府下307医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 1,470例(堺市 165例)
大阪府定点 4.79 堺市定点 5.69

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
52	156	119	170	122	149	139	141	103	160	159	1470

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前週1,540例→今回1,470例は5%減、定点当たり5.02→4.79となった。堺市で前週157例→今回165例は5%増、定点当たり5.41→5.69であった。今回、堺市は大阪府のブロック別のワースト2に再悪化した。

麻疹や風疹の報告はなかった。